

平成25年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：セジロウンカ、トビイロウンカ（No.1）

平成25年8月1日
鳥取県病害虫防除所

1 セジロウンカ

(1) 発生状況

ア 予察灯への初飛来は5月29日で、平年と比較して早かった。また、7月上旬および下旬に本県へのまとまった飛来が確認されているが、7月第5半旬現在、予察灯への総誘殺数は平年と比較してやや少ない。

イ 7月24～26日に行ったウンカ類常発地における定点巡回調査の結果、発生ほ場率は100%（平年：90.9%）、1株当たり平均成幼虫数は6.8頭（平年：7.0頭）で、平年並の発生であった。

ウ 現地ほ場での発生の主体は成虫及び若齢～中齢幼虫と推察される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 8月上旬までに要防除水準（成・幼虫数10頭/株）を超えたほ場では、病害虫防除指針等を参考にして防除を行う。特に、中生品種栽培ほ場等、8月上旬までに収穫前後の基幹防除を実施しないほ場では、本種の発生状況に十分注意する。

イ 8月上旬頃までに穂ばらみ期防除を実施するほ場では、殺虫・殺菌混合粉剤などを用いて、本種、いもち病及び紋枯病等を同時防除する。

2 トビイロウンカ

(1) 発生状況

ア 7月第5半旬現在、予察灯への飛来は認められていない。

イ 7月26日現在、現地ほ場での発生は認められていない。

(2) 防除上注意すべき事項

現在、本種の防除が必要な地域はないと考えられる。しかし、セジロウンカの飛来にトビイロウンカが混在していた可能性もあるので、ウンカ類常発地では今後の発生状況などに注意する。